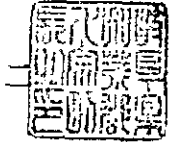


宗第442号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

岐阜県加茂郡七宗町長
井戸 敬



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号によるみだしの件につきまして、別紙により意見・提案を述べさせていただきます。

問い合わせ先：七宗町役場農林建設課長 加納忠良
電話：0574-48-1111（内線 260）

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岐阜県七宗町

1. 地方が必要とする道路整備を着実に進めるため、道路整備の財源及び予算を確実に確保すること。
2. 東海地震や、東南海・南海地震などの発生が切迫する中、安全で安心できる国土づくりのため、緊急輸送道路の確保や耐震補強対策など信頼性の高い道路整備を促進すること。

更に、下記の事業の促進を図ることを要望します。

①国道41号は、愛知県と富山県を結ぶ中部縦断軸の道路であり、観光・経済・物流の重要路線です。

しかしながら、岐阜県美濃加茂市より北部の山間地域は、落石等の危険箇所が数多く点在するため、防災の面からの早期整備と歩道未整備箇所の設置整備と交通安全施設などの設置・改善を要望します。

②主要地方道可児金山線は、国道41号のバイパス機能があり、また、岐阜県的美濃地方と飛騨地方を結ぶ経済・流通の要の道路です。特に、七宗町では、重要な生活道路でもあります。

しかしながら、本路線には未改良区間が存在するため、交通に支障が生じています。また、この未改良区間では雨量による交通規制の箇所でもあることから、地域の住民生活に非常に不便となっており早期に整備するよう要望が強く、また、経済・流通等の効率化を図る上からも早期整備について要望します。

③主要地方道富加七宗線は、国道41号のバイパス機能があり、また、岐阜県の中濃圏域内の経済・流通の要の道路であり、特に、七宗町では、重要な生活道路でもあります。

しかしながら、本路線には未改良区間が存在するため、交通に支障が生じています。よって地域住民からも早期に整備するよう要望が強く、また、経済・流通等の効率化を図る上からも早期整備について要望します。

④岐阜県では、「一市町村に一カ所の道の駅」を目標に国道及び県道などで整備が進められ、道路利用者のオアシスとしての機能を発揮しています。

しかし、当初に整備した施設ではすでに十数年が経過し、老朽化が進んでいます。

よって、計画的に施設の更新などについて要望します。

②-1 地域の現状と抱える課題

岐阜県七宗町

○現状

・本町の道路状況は、国道1路線、主要地方道3路線、県道2路線を基軸に、町道189路線が町内にあり、本町の経済・社会活動を支えています。

道路整備に対する住民ニーズは、高度化、多様化しています。

本町の南東端を走る国道41号は、中部圏における主要幹線道路でもあり、東海環状自動車道などへのアクセス道路でもあることから、その重要性を再認識し、円滑で安全・快適な道路整備を促進する必要があります。

また、本町に隣接する市町とのネットワークの骨格となっているのが、主要地方道関金山線、可児金山線、富加七宗線です。特に、可児金山線は国道41号から上麻生追洞地区間約2.1kmについて住民参画の道路計画づくり委員会よりルート案の提言書をいただきました。

その区間の一部が、平成19年度より地方道路臨時交付金事業として着手しました。

富加七宗線は、生活道路として、東海環状自動車道美濃加茂インターへのアクセス道路として重要な路線であり、早期改良を進める必要があります。

町道については、改良率、舗装率とも十分ではないことから、利便性を高めることが必要で、橋梁の耐震補強と長寿命化を図ることが必要です。

○課題

・国道41号は、中部圏における主要幹線道路でもあり、東海環状自動車道などへのアクセス道路でもあることから、円滑で安全・快適な道路整備を促進すること。

・主要地方道可児金山線の未改良区間であります国道41号から上麻生追洞地区間約2.1kmについては、現在、区間の一部が事業化されていますが、その区間の供用によっては、現道への接続が新たな交通渋滞等が発生するため、未改良区間全線の事業化。

・東海環状自動車道美濃加茂インターへのアクセス道路である主要地方道富加七宗線については、沿線の経済、生活活動に影響が大きいことから、早期改良の整備を図ること。

・町道橋の耐震補強、長寿命化を図るためには、相当な費用が必要となるため、こうした財源を確保すること。

②－２ 地域の目指すべき将来像

岐阜県七宗町

・住民生活や産業活動の利便性を考慮し、安全性を高めるとともに、自然と調和したうるおいある道路整備に努め、長期的視点を踏まえた総合的な道路交通体系の確立をめざします。
公共交通機関として重要な役割を担う、鉄道・町営バスの利便性を考慮し、効率のよい運行体系の確立をめざします。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

岐阜県七宗町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1. 広域幹線道路の整備促進	①国道41号美濃加茂・下呂間の交通の円滑化と安全性が図られるよう、国及び関係機関に対し車線強化整備などを要望します。 ②東海環状自動車道などへのアクセス道路となる主要地方道可児金山線や富加七宗線の未改良区間の早期改良整備を県に対し、強く要望する。	・高速道路への到達時間が短縮され、経済・流通等の効率化が図られる。	
2. 生活道路の整備	①幹線町道については、交通の改善効果や広域幹線道路とのネットワーク形成などを考慮し、優先度の高い順から整備する。 ②道路の体系的整備と連動させながら、町道橋梁の耐震化及び長寿命化を図る。		
3. 安全な道路環境の整備	①歩行者・自転車利用者など交通弱者を保護するため、交通量の多い国道41号、主要地方道可児金山線や関金山線の歩道未整備箇所の設置整備と交通安全施設などの設置・改善を要望する。	・通行車両や歩行者等の安全が確保される。	